コロンビア経済情勢（5月）

5月のコロンビア経済概況は以下のとおり。

【ポイント】

- 4月インフレ率（年率）は12.82%
- 原油の可採年数7.5年、天然ガスの可採年数7.2年に減少
- 上院で国家開発計画を承認

【本文】

1 主な出来事

〈国内情勢〉

（1）金融政策・物価関連

ア 4月インフレ率（年率）は12.82%（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、5日）

国家統計局（DANE）は、2023年4月の消費者物価指数（IPC）を発表、4月のインフレ率は年率12.82%であった。なお、3月は年率13.34%。インフレ率が下がり始めた主要因は、食料品、非アルコール飲料、ホテル、水道、電気、ガス、その他燃料の価格動向によるもの。

イ 輸送費がインフレ率を上げる（「ポルタフォリオ」紙、7日）

ボニージャ財務大臣は、全体及び食料のインフレ率が下がった点を評価したが、燃料価格の上昇に伴う輸送費の増加が懸念されると述べた。また、同大臣は「燃料価格安定化基金（FEPIC）の均衡が保たれるまで燃料価格が引き上げられることが重要。」と発言した。

ウ 高インフレにより4月消費11%減（「エル・ヌエボシグロ」紙、13日）

4月の消費は、高インフレの影響で11%減となった。例年、経済活動及び消費活動が活発化する聖週間（4月2～9日）が低調であったことも消費の減少に寄与した。バンコロンビアによれば、消費は年率で9%減となる見込み。4月の消費者物価指数（IPC）は修正される可能性があるものの、物価高が消費者に影響を与えている。

（2）財政関連

政府、追加予算は減額（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、26日）

ボニージャ財務大臣は6月に執行される追加予算を23兆ペソから14.7兆ペソに減額すると発言した。同大臣によれば、すでに歳入として承認されていたエコペトル社の配当金が21兆ペソで、燃料価格安定化基金（FEPIC）に

18兆ペソが納められている。

(3) 鉱業エネルギー関連

ア ガソリン価格、1万2000ペソを超える（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、3日）

5月2日、電力・ガス規制委員会（CREG）は、5月のガソリン価格（1ガロン）を4月の価格から600ペソ引き上げる旨発表、国内8都市で1万2000ペソを超える価格となった。都市別に見ると、ボゴタ市（12, 173ペソ）、メデジン（12, 111ペソ）、カリ（12, 211ペソ）等となっている。

イ 輸出の57%は鉱業エネルギー部門（「ラ・レプブリカ」紙、3日）

3日、バランキージャ市にて第2回コロンビア石油ガス協会（ACP）フォーラムが開催された。同フォーラムではSDGsへの鉱業エネルギー部門の貢献について議論された。Fedesarrolloのメヒア調査部長は、「輸出の57%は鉱業エネルギー部門であり、同部門は外貨獲得源である。また、歳入の約10%が同部門からのものである。」と述べ、エネルギー移行における石油・天然ガス部門の役割を強調した。

ウ 火力発電所の廃止によりGDP成長率が0.3%まで低下（「ポルタフォリオ」紙、4日）

石油・ガス関連企業がバランキージャ市に集まり、油田・ガス田の新規採掘契約を締結しないと政府の方針について議論した。Fedesarrolloのメヒア調査部長は、国内経済の後退を招く4つのリスクについて述べ、政府の方針によりGDP成長率は0.3%まで低下し、財政や貿易収支バランスにも影響を与えるとの見解を示した。また、エネルギー・マトリックスから天然ガスを排除することで、生産活動が高コストとなる他、新たな技術を導入するためにも高コストとなると述べた。

エ 3月の原油生産2.61%減、日量77万1,732バレル（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、4日）

炭化水素庁（ANH）は、3月の原油生産が平均で日量77万1,732バレル（前年同月比2.61%増、前月比1.55%増）であったと報告した。

オ ガソリン補助金政策（「ラ・レプブリカ」紙、8日）

ベレス鉱業エネルギー大臣は、訪問先のリスボンで、ガソリンの価格設定方法を政府部内で検討中であると述べた。また、国際価格と国内価格の差額を解消するためには少なくとも6~7か月が必要であるとの考えを示した。他方、ボニジャ財務大臣は、7日、ガソリン価格が11月には1ガロンあたり1.6万ペソに達すると述べた。燃料価格安定化基金（FPEC）の赤字額は本年、28兆ペソと予測されていたが、ボニジャ大臣によれば、現時点で32兆ペソとなっている。

カ エコペトル社、2023年第1四半期13.9%の減収（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクトドル」紙、10日）

エコペトル社の2023年第1四半期の収益が前年同期比13.9%減の5.6兆ペソとなった。減収の主な要因は、税制改革による所得税の負担増。一方、2023年第1四半期の販売額は、為替変動がプラスに影響し、前年同期比19.7%増の38.5兆ペソとなった。

キ エコペトル社、民間金融機関から4億ドルの融資を受ける（「ラ・レプブリカ」紙、12日）

財務公債省はエコペトル社に対し、4億ドルの融資を許可した。同融資は、BBVAニューヨーク支店及びMUF Gがそれぞれ2.5億ドル、1.5億ドルを負担し、償還期間は署名から5年とされる。

ク 天然ガス及びエネルギー移行での天然ガスの役割に関するロードマップの発表（「エル・エスペクトドル」紙、17日）

ボゴタ電力（GEB）、地域エネルギー研究センター（CREE）、国際ガス運輸（TGI）は、コロンビアにおける天然ガスのための今後50年間のロードマップを発表した。同発表で、天然ガスは温室効果ガス排出が石炭及び石油よりも少なく、大気汚染改善に効果があり、エネルギー移行を円滑に進めることができると評価した。また、太陽光や風力といった再生可能エネルギーで電力需要をカバーできない部分について、インフラを整備して天然ガスによる発電で補填することを提案した。

ケ 国民の87%、エネルギー移行について知らないと回答（「ポルタフォリオ」紙、18日）

国際ガス運輸社（TGI）は、地域エネルギー研究センター（CREE）との共同調査で、調査対象者の87%が、エネルギー移行が何を意味するか理解できていなかったとの結果を発表した。また、カーボンニュートラルについても同様に約95%が理解できていないとの結果であった。

コ 原油の可採年数7.5年、天然ガスの可採年数7.2年に減少（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクトドル」紙、24日）

炭化水素庁（ANH）は、2022年末時点の炭化水素関連企業からの情報を基に炭化水素の埋蔵量に関する報告書を発表した。同報告書によれば、原油の可採年数が7.5年、天然ガスの可採年数が7.2年に減少した。天然ガスの可採年数は調査開始以降、最少の可採年数となった。

サ 政府、グアタメ炭化水素庁（ANH）長官に辞任を要請（「ポルタフォリオ」紙、31日）

ANHによる原油埋蔵量等の報告書発表後、政府はクララ・グアタメANH長

官に辞任を要請したことが明らかになった。辞任を要請したのはベレス鉱業エネルギー大臣で、辞任要請の理由として知識水準が低いことが挙げたが、グアタメ長官は過去にANH技術担当副長官や調査担当部長等を歴任している。

(4) インフラ関連

ア ボゴタ・メトロ2号線入札（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、11日）

カマルゴ運輸大臣、ボニジャ財務大臣、ロペス・ボゴタ市長が同席の下、ナルバエス・ボゴタ・メトロ公社社長はボゴタ・メトロ2号線建設のための公開入札の開始を発表した。同プロジェクトは、チャピネロ地区、バリオス・ウニドス地区、エンガティバ地区、スバ地区を通過する全長15.5km、11駅を有するもの。同建設工事により1.1万人の雇用が創出される。

イ 2023年の空港建設費、7,637億6,800万ペソに（「ポルタフォリオ」紙、14日）

カマルゴ運輸大臣は「国内の空のアクセスが制限されているのは明らかで、孤立した地域を空路でつなぐ責任がある。」と述べた。この方針に沿って、2023年に33件の空港整備を提案しており、7,637億6,800万ペソを投じ、特に中小規模の空港整備にあたる。トルー（Tolu）空港（スクレ県）は政府の優先事項として最大の投資が投じられ、外国人観光客の誘致が強化される。

ウ 国家インフラ庁（ANI）、国内6か所の空港施設の拡充に12.26兆ペソを投じる（「ラ・レプブリカ」紙、29日）

政府は12.26兆ペソを投じ、国内6か所の空港施設の近代化、拡充を行う。対象となるのは、カルタヘナ空港、サンアンドレス空港、バユンカ空港（カルタヘナ市）、南西空港（カリ市）、エル・ドラド空港（ボゴタ市、2か所）。上記空港施設の整備により、20万人以上の直接・間接雇用、年間9,000万人の乗降客が見込まれる。

(5) その他

ア 2023年第1四半期の在外コロンビア人からの海外送金21%増（「ポルタフォリオ」紙、3日）

2023年第1四半期の在外コロンビア人からの海外送金が前年同期比21%増の24億7,600万ドルを記録した。中銀統計によれば、海外送金は2022年に94億2,700万ドル（前年比10%増）を記録しており、海外送金は増加傾向にある。

イ 上院で国家開発計画を承認（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、4日）

3日、上院は「国家開発計画2022-2026」を承認した。ゴンサレス国家企画庁（DNP）長官は、3か月間にわたる上院での審議、財務公債省及びDNPの協力を謝意を述べた。

ウ コロンビア、世銀のロジスティクス・ランキングで順位を下げる（「ポルタフォリオ」紙、4日）

世銀が発表する「物流パフォーマンス指数（LPI）」で、コロンビアは2018年に160か国中58位であったが、2023年には139か国中66位と順位を下げた。6つの評価項目のうち4つでネガティブな評価となったことが理由とされる。国際輸送では-11ポイント、税関では-9ポイント、トレーサビリティでは-9ポイント、ロジスティクス及びクオリティでは-1ポイントであった。インフラ及び時間厳守ではそれぞれ14ポイント、16ポイントであった。

エ カスタニョ金融監督庁長官辞任（「ポルタフォリオ」紙、「エル・エスペクトADOR」紙、5日）

ホルヘ・カスタニョ金融監督庁長官が約7年間にわたり在職した長官職を辞任した。後任には、ペトロ大統領の経済顧問であるセサル・フェラリ氏（ペルー、コロンビア、イタリアの三重国籍）が就任する。

オ 2023年コーヒー生産、6%減（「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクトADOR」紙、5日）

コロンビアの2023年1～4月の生産は、前年同期比6%減の326万袋（60kg）に減少した。4月の生産は、前年同月比25%減の56.6万袋であった。減産理由には、ラニーニャ現象による生産地での降雨増に加え、肥料等の価格高騰による投入不足が挙げられる。

カ 対外債務残高、10年間でGDP比2倍に（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、11日）

2月時点の対外債務残高は1,877億7200万ドル、GDPの54.5%となった。2013年時点での同残高（398億5,600万ドル、GDPの23.4%）と比較して104%増加した。このうち、民間の対外債務は2013年の398億5,600万ドル（GDPの10.4%）から2023年2月時点の807億9,000万ドル（GDPの23.4%）に、公的対外債務は522億1,600万ドル（GDPの13.7%）から1,069億8,200万ドル（GDPの31%）に増加している。

キ 1-3月期非正規雇用、58.2%に（「エル・ヌエボシグロ」紙、12日）

DANEは1-3月期の非正規雇用が前年同期比で0.3%改善し、58.2%であったと発表した。また、13都市及び首都圏での非正規雇用は前年同期比0.7%改善し、42.8%であった。他方、男性労働者の非正規雇用は前年同期比

0. 5%改善の60. 5%、女性労働者は0. 2%悪化の54. 9%であった。
ク スペシャルティ・コーヒー、記録的価格で落札（「エル・ヌエボシグロ」紙、13日）

第8回コーヒー・コンクール（Tierra de Diversidad）で、スペシャルティ・コーヒーの落札価格が更新された。平均落札価格は22. 77ドル／ポンドであるが、ノルテ・デ・サントアンデール県ドミンゴ・トレス農園のコーヒー豆は、史上最高値の120. 50ドル／ポンドで米国のKoffee Kultが落札した。バアモンFNC会長は「コロンビア産コーヒーが求められていることが証明され、大変誇らしい。生産者世帯にとっても所得増につながる。」と述べた。

ケ 第1四半期のGDP成長率3%（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、15日）

DANEは、2023年第1四半期のGDP成長率が3. 0%であったと発表した。前年同期比で寄与度が高かったのは、金融・保険、娯楽・エンターテインメント、公共サービス・国防の3部門で、GDP成長率3%のうち2%を占めた。

ケ 新規住宅販売（4月）、62%減、（「ラ・レプブリカ」紙、17日）

新規住宅販売が低下傾向にあり、4月は62%減となった。特に社会利益住宅販売（VIS）の低下が大きく、前年同月比66%（11, 117軒）減の5, 674軒となっている。本年1～4月の新規住宅販売は55%減、VISは59%減となっている。

コ 金融機関、一部貸出金利を引き下げる（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、17日）

4日、バンコロンビア及びバンコ・アグラリオは、政府の社会政策に沿った持続可能な発展を進めるため貸出金利を引き下げると発表した。バンコロンビアは5月19日から金利を年利28%に引き下げる。また、バンコ・アグラリオは、地方の女性及び若年層への融資を12. 65%～13. 47%、紛争被害者等への融資を11. 98%とする。

サ Fedesarrollo 調査、アナリストはGDP成長率1. 1%を予測（「ポルタフォリオ」紙、23日）

Fedesarrollo が実施した金融関連アナリストへのアンケート調査結果によれば、2023年のGDP成長率の予測レンジは0. 8%～1. 5%であった。また、2024年の予測レンジは2. 0%～2. 5%であった。一方、インフレ率の予測値について、2023年5月は12. 59%、同年12月は9. 15%であった。

シ 空路での旅客流入減により2023年の観光部門GDPは0. 8%減（「ラ・レプブリカ」紙、29日）

投資会社Corficolombianaの試算によれば、低コスト航空路線（LCC）の低

迷に加え、航空料金への付加価値税（I V A）の軽減措置撤廃（5%→19%）、宿泊料金へのI V A免税措置の撤廃及び家計支出の縮小により、観光部門のG D Pは約0.8%減となるものと見られる。

ス 2022年県別G D P（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、30日）

D A N Eは2022年の県別G D P報告を発表した。G D Pの大きい順に、ボゴタ市（357.3兆ペソ）及びアンティオキア県（212.5兆ペソ）、バジェ・デ・カウカ県（139.8兆ペソ）、サンタンデール県（92.2兆ペソ）、クンディナマルカ県（91.9兆ペソ）、アトランティコ県（63.7兆ペソ）、メタ県（58.4兆ペソ）、ボリバル県（51.4兆ペソ）、ボヤカ県（38.8兆ペソ）となっている。一方、G D Pの小さい県は、チョコ県（6.0兆ペソ）、プトゥマヨ県（5.6兆ペソ）、カケタ県（5.4兆ペソ）、サンアンドレス及びプロビデンスシア県（2.1兆ペソ）、グアビアレ県（1.12兆ペソ）、アマソナス県（1.06兆ペソ）、ビチャダ県（0.96兆ペソ）となっている。

ボゴタ市、アンティオキア県、バジェ・デ・カウカ県及びサンタンデール県の上位4県で国内G D Pの54.8%を占める。

セ 4月全国失業率10.7%（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、31日）

D A N Eによれば、4月の労働市場は前年比でわずかに回復し、全国の失業率は前年同月比0.5%改善の10.7%となった。また、労働参加率は64.6%、就業率は57.7%であった。4月の就業者数は2,270万人、失業者数は273万人、非労働人口は1,390万人であった。

〈対外経済関係〉

（1）通商関連

ア 対ベネズエラ輸出1億4,490万ドルに増加（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボシグロ」紙、「エル・エスペクタドール」紙、11日）

2023年第1四半期の対ベネズエラ輸出が前年同期比32.9%増の1億4,490万ドルを記録した。このうち、94.1%（1億3,640万ドル）が非鉱業エネルギー財で、29.2%増となった。増加した主な輸出品は菓子類となっている。

イ 対米F T A締結から11年、米国からの投資は101%増（「ラ・レプブリカ」紙、15日）

対米F T A発効から11年が経過した。2012年以降、米国にはコロンビアの産品1,036品目が新たに輸出された。コロンビアは対米F T Aを有する14か国のうちの1つで、現在、メキシコ、ブラジルに次いで第3位の輸出国であ

り、2022年、コロンビアは米国に148.38億ドルを輸出している。対米FTAにより、コーヒー、生花、バナナ、テキスタイル、建設資材、プラスチック・ゴム製品等の輸出が増加し、米国からの対コロンビア投資は2012年の24.76億ドルから2022年の49.76億ドルに増加した。

ウ 貿易赤字、10億8,440万ドルに（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、16日）

DANEによれば、3月の輸入額が前年同月比17.1%減の58億5,680万ドルとなった。減少が大きかったのは製造業関連（16.6%）で、輸入額全体の74.1%を占める。他方、3月の貿易赤字は10億8,440万ドル（FOB）（2022年3月は15億3,225万ドル）を記録した。

エ 商工観光省、ドイツ及びスイスとの協定を達成（「ポルタフォリオ」紙、20日）

ウマニャ商工観光大臣は、ドイツ及びスイスを訪問し、産業活性化及び投資誘致のための協定を両国と締結した。

オ 農産加工品の対米輸出、4年間で3倍に（「エル・ヌエボシグロ」、22日）

農産加工品の対米輸出が4年間で3倍となる見込み。当地米国商工会議所（AmCham）の報告書によれば、両国のFTAにより果実及び加工食品の輸出が約250%増加し、2023年の4億200万ドルから2027年には13億9,990万ドルに増加すると見込んでいる。

（2）国際協力関連

ア マグダレナ・メディオ地域の生態系を守る技術支援（「ポルタフォリオ」紙、3日）

ファーウェイ（華為技術有限公司）は、2022年8月からマグダレナ・メディオ地域の生態系保護活動（15か所、70平方キロメートル）を開始した。ファーウェイ機材による技術支援、フンボルト財団及びNGOによる活動で、森林伐採、密漁、密猟、違法採掘から生態系を守ることを目的とする。

イ コロンビア、スペインとの重要合意文書に署名（「ポルタフォリオ」紙、4日）

4日、ペトロ大統領は、サンチェス・スペイン首相とモンクロア宮（首相官邸）で会談し、二国間の政治・経済関係の強化に関するいくつかの合意文書に署名した。コロンビア外務省は、両国が10の国際協力協定の外、両国の高校及び大学の卒業認定、労働、文化、スポーツ、運輸、エネルギー移行等の6つの覚書にも署名した旨発表した。

主な経済指標

経済活動指標	2022/03	2023/01	2023/02	2023/03
国内総生産(四半期)(DANE):%	7.8	3.0	-	-
経済活動指数(DANE):%	7.2	4.8	2.4	1.6
経済活動指数第1次産業(DANE):%	-5.3	1.4	0.1	3.8
経済活動指数第2次産業(DANE):%	7.1	0.5	0.0	-1.7
経済活動指数第3次産業(DANE):%	9.8	6.5	3.4	1.8
エネルギー需要(XM):GWh	6,535.3	6,393.4	5,999.7	6,651.0
エネルギー需要-前年同月比(XM):%	4.8	1.4	2.1	1.8
雇用				
全国平均失業率(DANE):%	12.1	13.7	11.4	10.0
主要13都市失業率(DANE):%	12.6	14.5	11.5	10.5
消費				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO):%	-17.8	-28.6	-27.8	-28.5
実質小売売上高指数(DANE):%	12.0	-1.8	0.1	-7.1
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS):台	20,845.0	13,872.0	15,820.0	17,270.0
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS):台	57,454.0	13,872.0	29,692.0	46,962.0
物価				
消費者物価上昇率-前月比(DANE):%	1.0	1.78	1.66	1.05
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE):%	8.5	13.25	13.28	13.34
生産者物価上昇率-前月比(DANE):%	3.8	0.76	1.15	-0.84
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省):ペソ/ガロン	9,372.0	10,523.00	10,773.00	11,173.00
生産				
実質工業生産指数(DANE):%	12.3	0.2	0.4	-2.0
実質工業売上高指数(DANE):%	11.2	0.5	-1.1	-3.1
新規建設着工承認面積(DANE):㎡	2,242,414.0	2,177,794.0	1,778,041.0	1,774,360.0
コーヒー生産量(FNC):千袋(60Kg)	914.0	868.0	1,025.0	799.0
コーヒー生産量-前年同月比:%	-13.0	-19.7	-7.4	-23.9
コーヒー価格(IOC)/11月から"SUAVE":USD	287.9	218.2	237.0	228.2
石油生産量(日量)(鉱山省):バレル	752,133.6	773,948.2	759,953.3	771,547.0
石油生産量-前年同月比(鉱山省):%	0.9	3.8	1.9	3.5
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省):バレル	744,536.4	773,948.2	766,950.8	768,482.9
石油価格WTI:USD/バレル	108.5	78.1	76.8	73.3
金融				
政策金利(中央銀行):%	4.0	12.75	12.75	12.75
為替 月初(中央銀行):COP	3,910.3	4,810.20	4,648.70	4,814.11
為替 月末(中央銀行):COP	3,748.2	4,632.20	4,808.14	4,627.27
為替 最高値(中央銀行):COP	3,910.3	4,989.58	4,966.33	4,866.50
為替 最安値(中央銀行):COP	3,746.4	4,531.75	4,584.44	4,627.63
株式指数 月初(中央銀行):COP	1,538.6	1,283.87	1,268.48	1,198.89
株式指数 月末(中央銀行):COP	1,616.1	1,290.11	1,187.56	1,157.59
株式指数 最高値(中央銀行):COP	1,616.1	1,342.91	1,270.09	1,241.44
株式指数 最安値(中央銀行):COP	1,517.9	1,269.56	1,187.55	1,106.24
貿易				
貿易収支(FOB)(DANE):百万米ドル	-1,532.5	-1,478	-555	-1,084
輸出額(FOB)(DANE):百万米ドル	4,968.8	3,695	4,203	4,463
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE):%	46.9	42	43	32
輸出額(FOB)年内累計(DANE):百万米ドル	12,952.8	3,695	7,898	12,360
輸入額(CIF)(DANE):百万米ドル	7,063.4	5,530	5,058	5,857
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE):%	43.1	45	30	19
輸入額(CIF)年内累計(DANE):百万米ドル	18,940.6	5,530	10,588	16,445
労働者送金(中央銀行):百万米ドル	733.9	785	833	858